

第12回 三重県立総合医療センター
がん市民公開講座



がん治療と 社会生活の両立

参加費無料
事前申込不要

がん治療によって外見が変化すると、時として患者さんの社会生活を大きく左右します。「脱毛した後いつから髪を染めて良いのか」「爪が変形したがどのようにケアをしたら良いのか」といった具体的な悩みだけでなく、「見た目が変わったことで他人と関わりたくない」といった心理的な負担を伴うこともあります。最近、このような外見(アピランス)に関する諸問題を包括的に支援(ケア)することに注目が集まっています。その手法や考え方について国立がん研究センター中央病院アピランス支援センター 野澤桂子センター長にご講演いただきます。

また、手術、抗がん剤と並ぶがん治療の三本柱の1つである放射線治療は、近年の技術の進歩で治療成績が向上しています。切らずに臓器や機能を温存できる「からだに優しい放射線治療」について、当院の佐貫直子放射線治療科部長より講演を行います。がん患者やそのご家族のみならず、がん患者ケアを行う医療従事者の方など、多数のご来場をお待ちしております。

日時 平成30年12月8日(土) 13:30～15:30(開場13:00)

場所 三重県立総合医療センター 7階 講堂
※当日は防災センター入口(時間外入退院出入口)よりお入りください

定員 80名

講演 (約20分) からだに優しい放射線治療

佐貫 直子
(当院放射線治療科部長)
放射線治療専門医
日本がん治療認定医機構がん治療認定医



特別講演 (約60分) 患者さんのアピランスケア
～ちょっと心が軽くなる外見ケアのお話～

野澤 桂子
(国立がん研究センター中央病院)
アピランス支援センター長
臨床心理士
心理学博士



※参加費無料、事前申込は不要です。

※できるだけ公共交通機関をご利用の上、ご来場ください。
自家用車でお越しの際は、当院駐車場をご利用の上、会場まで駐車券をお持ちください。受付にて無料処理をいたします。

どなたでもご参加いただけます
お気軽にお越しください



～ お問い合わせ先 ～

〒510-8561 三重県四日市市大字日永5450番地132

地方独立行政法人 三重県立総合医療センター 事務局 経営企画課 電話 059-345-2321